

◇第2回ジャーナリストをめざす日韓学生フォーラム実施要項◇

2018年8月

日韓学生フォーラム実行委員会

日韓学生フォーラムと銘打ったこの試みは、ジャーナリストを目指す、日韓の学生が集い、それぞれの問題意識を共有しながら、ジャーナリストとしての視点を育んでもらおうと企画しました。去年秋に韓国ソウルで開いた第1回目には、30人あまりの学生が参加しました。そして慰安婦問題など日韓の歴史に関わる問題などについて考え、交流を深めました。

第2回目の今回は、広島で8月の原爆の日に合わせて開くことになりました。原爆投下から今年で73年、被爆者の方々の平均年齢は80歳を超え、その思いをどのように継承していくかが、ますます重い課題になっています。一方、昨年のノーベル平和賞は核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）が受賞、国連では核兵器禁止条約が採択されるなど、国際的な核廃絶への機運が高まる中で唯一の被爆国、日本のスタンスが問われています。

そして日韓の学生の共有する課題として今回は特に、韓国・朝鮮の被爆者の問題についても、皆さんに考えてもらいたいと思います。

「歴史」と「現場」が交錯し、同時進行している広島を皆さんが実際に見て感じ、そして時間を遡る想像力を発揮して、これから目指すジャーナリストの仕事への原動力にしてもらえたら・・・実行委員一同の願いです。

○ジャーナリストをめざす日韓学生フォーラム実行委員（50音順）

新崎盛吾（前新聞労連委員長、共同通信記者）

岩崎貞明（放送レポート編集長、専修大学特任教授）

植村隆（韓国カトリック大学客員教授、元朝日新聞記者）

小黒純（同志社大学教授、元共同通信記者、元毎日新聞記者）

黒島美奈子（沖縄タイムス論説委員） 隈元信一（ジャーナリスト 元朝日新聞記者）

高橋弘司（横浜国大准教授・元毎日新聞記者） 田村元彦（西南学院大学法学部准教授）

往住嘉文（元北海道新聞編集委員） 西嶋真司（RKB 毎日ディレクター）

西村秀樹（近畿大学客員教授、元毎日放送記者）

菱木一美（広島修道大学名誉教授、元共同通信論説副委員長）*実行委員長

藤森研（専修大学教授、元朝日新聞編集委員）

水野孝昭（神田外語大学教授、元朝日新聞論説委員）

村上雅道（長崎県立大学国際社会学部長、元熊本放送報道制作局員）

○実行委員・事務局担当

須貝道雄（元日経新聞記者）

古川英一（元NHK記者）